

# B

## ook 必読本

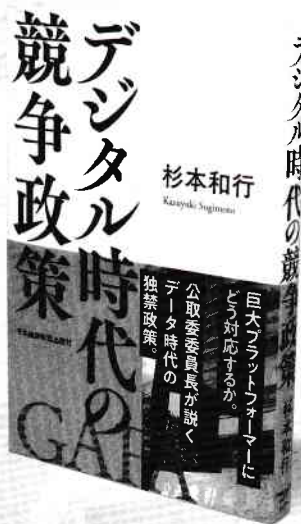
### 【わたしの一冊】

このコーナーは小宮山宏(三菱総研理事長)、久保利英明(弁護士)、松本晃(ラディカールジャパン会長CEO)、富山和彦(経営共創基盤CEO)、飯屋蘭聡一(日本ベンチャーキャピタル協会名誉会長)5氏によるリレー連載となります

## ルール整備が同時並行で進む中、デジタル戦略をどう進めていくか

ビッグデータ、IoT、AIなど第4次産業革命の進展により、企業は破壊的イノベーションへの対応を避けて通れなくなっている。そこで幅広い業種の競争状況に大きな影響力を持つちつつあるのがGAF Aに代表される巨大ITプラットフォームフォーマーだ。最近Googleが自社ブラウザにおける広告向けCookie利用について、2年以内にサポートを終了する方針を発

表したが、世界中のアドテックノロジー企業の株価が暴落するなど、GAF Aの一挙手一投足が大きな波紋を生む時代になっている。また、2018年のFacebookの個人情報流出問題等を契機に、ビッグデータ寡占を問



『デジタル時代の競争政策』

杉本 和行 著  
日本経済新聞出版社  
1800円+税

題視する声も高まっている。本書は、巨大ITプラットフォームフォーマーによるデータ軸とした新たな独占・寡占が進むデジタル時代において、公正な企業活動を通じてデジタルの恩恵が人々にもたらされるためのある

ていこうという姿勢を窺い知ることが出来る。今日まで日本経済にもたらされた構造的な変化を概観するとともに、その変化の中に未来志向で『デジタル時代の競争政策』を位置づけて論じているため、競争政策の

窓から経済の全体観としてデジタル時代を捉えることができよう。加えて、競争政策の4つの基本方策(不当な取引制限、私的独占、不正な取引方法、企業結合)に関する平易な説明もなされており、前提知識がなくても読み進められる。民間企業のデジタルトランスフォーメーションの推進、5G時代に即した高度な通信環境の確保など社会全体のデジタル化が進んでいくなかで、同時並行的にルール整備がどう進んでいくかを理解する一助として、そしてデジタル時代の新しいタイプの競争を理解するために、経営実務家全般が読むべき著作である。



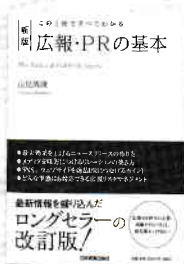
経営共創基盤代表取締役CEO  
富山 和彦  
Toyama Kazuhiko

## ZAikai LIBRARY



東京書籍  
1300円+税  
真集

『くらべる京都』  
岡部敬史 著 / 山出高士 写真  
男坂 / 女坂、西寺 / 東寺、赤い提灯 / 白い提灯の違いとは……  
京都の文化と歴史を目で見て読んで学べる写真集



日本実業出版社  
2000円+税

『新版 この1冊ですべてわかる 広報・PRの基本』  
山見博康 著  
Webメディアの登場で広報・PRの仕事の仕方、心構えが変わる中、最新の動向を網羅した広報の教科書



日本経済出版社  
1500円+税

『Q&A SDGs 経営』  
笹谷秀光 著

行政を経て民間に転じた著者が解説するSDGs経営の導入による東京五輪、大阪万博による日本活性化策